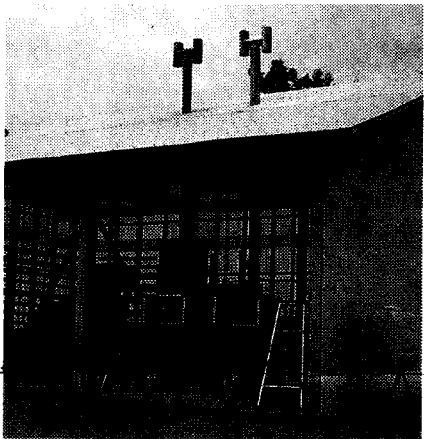


ウッドボイラー

原油価格の高騰から、 高騰で販売台数が倍増

エーテーオー

原油価格の高騰から、社長・愛知県名古屋市長・
エーテーオー(株) (安藤 齊二 区志賀町5の17) のウッ



シイタケ栽培ハウスに2台設置された(島根県邑智郡)

ドボイラーは販売台数が2倍に増えそうだ。

同社のA.T.O.ウッドボイラーは、薪の投入口がワイドで燃焼室は奥行きがあり、薪を小割りする必要がなく丸太のまま投入できる。「火持ちがよく薪の投入回数も減り、灰も少ない」と評判だ。売れ筋はN-220N

SB(貯湯タンク容量220リットル、毎時熱源能力3万4千4000キロワット)で、年間出荷台数の7割を占める。この他貯湯タンク容量が200リットル、350リットル、500リットルの4機種が標準品。大型の1000リットル、1950リットルタイプも受注生産する。

長野県南信地域では家の暖房に1万5000リットルが稼働するなど、農機販社も販売する必需品。

昨年前半までユーザーは一般家庭が約25%、農業(林業)約30%、建設業等40%、温泉・旅館業約5%だった。その後、

原油価格高騰から温泉・旅館業の採用が増加し、現在は温泉・旅館業が3割を占める。年間販売数は昨年は200台だったが、今年は400台近くに増加、同社営業部特販課によると「生産が追いついていない」状態だ。

施設園芸でも導入が増えそうだ。島根県邑智郡では11月、菌床シイタケのハウスにN-350N SB(貯湯タンク容量350リットル、毎時熱源能力4万7000キロワット)が導入された。菌床の品種を2種類栽培するため間口7.2メートル×全長50メートルのハウス内を20リットルずつに仕切り、個別に温度制御するため2台の導入になった。

薪を投入すると3〜4時間で燃焼するため、夜間も熱源が必要な施設では灯油バーナーと組み合わせて使うことが多い。現在の石油価格ならば灯油使用量を3割減らすとボイラーの導入コストは7年で償却できる。全面的に新燃料に代替すると3年半で償却できる。

問い合わせは同社052・915・4311。



発行日 2007年12月3日(月曜日)

発行所 農経新報社
編集人 水多秀彦
〒112-0025
東京都中央区本町1-15-21
電話 03(5463)4214
FAX 03(5463)4212
〒539-0001
大阪府住吉区南園1-11-4・109
電話 06(5343)1214
FAX 06(5343)1213
定価 1冊 15.20円